

令和 7 年度事業報告(案)

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

I. 法人の状況について

1 本年度事業計画における重点項目の実施状況

(1) 支援・広報の発展、充実

- ① 「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」における「相談・コーディネート」の拠点としての支援の充実を図った。

■「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」継続研修会の開催

支援の充実を図るため、専門家による継続研修会を開催し、県、県警、医療機関、教育機関等の参加があった。

日時 令和 8 年 2 月 28 日(土)午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分

開催方法 ZOOM ウェビナー

参加者:事前申込者 57 名、当日アクセス数のべ 55 名

特別講演「性被害児への診療の現状と問題点～小児科医からの視点～」

講師 本山景一氏(茨城県立こども病院 総合診療部救急集中治療科
集中治療室長)

■「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」意見交換会に参加

(令和 7 年 7 月 1 日 Web)

茨城県(生活文化課、教育庁)、茨城県警察本部(警務課犯罪被害者支援室、捜査第一課)、茨城県産婦人科医会、茨城県医師会、県立こども病院、当センター及び一般社団法人 LANS による意見交換会に参加し、各機関との連携を図った。

■内閣府主催「性犯罪・性暴力被害者支援のためのワンストップ支援センター・

都道府県等所管課連絡会」に参加(令和 7 年 6 月 26 日 Web)

■性暴力被害者のための夜間休日コールセンターとのオンライン会議に参加

(令和 8 年 1 月 27 日 Web)

■相談員の負担軽減のためのスーパーバイズ(随時)

電話受理・支援等の都度、実施した。

■性暴力被害者支援を周知するための広報ツールの充実(随時)

茨城県生活文化課の HP や県及び市町村の HP・広報紙に案内掲載を依頼すると共に、広報啓発グッズを作成・配布して周知を図った。

■「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」の一員として、協力病院(43 病院)と精神科病院(8 病院)との連携を図った。

※「協力病院一覧」として、方面別に 9 病院を茨城県及び当センターのホームページに掲載した。

- ② 全国被害者支援ネットワークが行う電話相談事業との円滑な連携運用を行った。
センター開設時間外の相談対応について、全国被害者支援ネットワークの犯罪被害者等電話サポートセンターとの連携運用を図った。
- ③ 社会全体で被害者等を支える気運の醸成に寄与するため、茨城県の広報紙(ひばり 11月号)及び市町村の広報紙に広報文の掲載を要請し、被害者支援の浸透を図った。
- ・水戸市福祉ボランティア会館ミオスで開催された「ボランティアサークル活動パネル展示会」に参加し、センター紹介パネルとリーフレットを設置した
(令和7年7月23日～8月17日)
 - ・水戸市役所多目的ホールにてセンターリーフレットを設置した
(令和7年11月11～19日)
- ④ 支援活動員及び犯罪被害相談員を増員させることにより、被害者支援活動を支える基盤を強化し、支援内容の充実及び質的向上を図った。

第 25 期被害者支援活動員養成講座上級編を終了した 3 名が「支援活動員」に認定された(表1参照)。

表 1 支援活動員数の増減

	令和7年度期末	令和6年度期末	増減	備 考
犯罪被害者直接支援員	27	25	+2	認定 4 名
犯罪被害相談員	12	13	-1	

- ⑤ より充実した被害者支援活動を進めていくため、支援活動員及び犯罪被害相談員の待遇改善を図った。

令和 7 年度定時社員総会にて、職員給与規程の改訂を行い、昇給を行った。

- ⑥ 当センター設立30周年記念行事の遂行と、記念行事に絡めメディアを活用し当センターの被害者支援活動について広報に努めた。

■ 設立 30 周年記念式典・記念講演会

日時 令和 7 年11月 8 日(土) 14:00～16:00

会場 水戸市民会館 大会議室

開催方法 ハイブリッド(対面・Zoom ウェビナー、オンデマンド配信あり)

参加者 対面100名、Web6 名、再生回数 23 回

記念講演会「遺族となって 22 年」

講師 米村州弘氏

- 設立 30 周年記念式典・記念講演会について、読売新聞と茨城新聞に報道された。

(2) 財政基盤の確立

- 被害者支援自動販売機の設置を推進した。
- 全国被害者支援ネットワークのホンデリングプロジェクトに参加し、会員等の協力を求め、古書、書き損じはがきの売却等により資金調達を図った。
- 使用済みインクカートリッジ回収事業
回収したプリンター用インクカートリッジのリサイクル可能な数に応じて寄附金が振り込まれる「使用済みインクカートリッジ回収事業」を令和5年度から開始し、これまで 11 機関に回収ボックスを設置していただいた。

設置場所

茨城県、茨城県水戸合同庁舎、茨城県総合福祉会館、茨城県警察本部、水戸警警察署、水戸市役所、海上保安庁茨城海上保安部、株式会社原子力セキュリティサービス、水戸刑務所、NTT 東日本茨城支店、株式会社萬道総業

- 以下の法人等から寄附を受けた。
 - ・茨城県警察本部(令和 7 年 7 月 1 日・9 月 22 日、令和 8 年 1 月 20 日、3 月 25 日)
 - ・アサヒビール株式会社茨城工場(令和 7 年 8 月 25 日)
 - ・一般社団法人茨城県警備業協会(令和 7 年 11 月 28 日)
 - ・茨城セキスイハイム株式会社(令和 7 年 11 月 28 日)
 - ・株式会社セイブ(令和 7 年 12 月 5 日)
 - ・水戸市大型店協議会(令和 8 年 3 月 26 日)
 - ・第2820地区第3分区水戸東ロータリークラブ(令和 8 年 2 月 5 日)
 - ・NTT 東日本株式会社茨城支店(令和 8 年 2 月 19 日)
 - ・茨城県警察官友の会牛久支部(令和 8 年 3 月 5 日)

2 役員等に関する事項

- 荒川誠司前理事長の死去に伴い、第 48 回理事会(書類審議、審議期間令和 7 年 4 月 28 日(月)～令和 7 年 5 月 8 日(木))において、川上俊也理事が「新理事長」に選任された。
- 令和 7 年度定時社員総会(令和 7 年 6 月 17 日)にて、内藤学理事の退任、そして、新理事として伊藤きょう子理事、今井一道理事と森田冴子理事が選任された。

3 会員等に関する事項

会員の増減については表2の通りである。

表2 会員の増減(期末比較)

(単位:正会員・個人賛助会員は人、法人賛助会員は社)

	令和 7 年度	令和 6 年度	増減	備 考
正会員	67	65	+2	退会 5 入会 7
個人賛助会員	93	95	-2	退会 8 入会 6
法人賛助会員	64	69	-5	退会 6 入会 1

Ⅱ 事業内容について

本法定款第4条により策定した令和7年度の事業計画に基づいて行った事業等につき、以下のとおり報告する。

1 支援事業(公1)

(1) 被害者等に対する電話相談及び面接相談事業

① 支援件数

令和7年度の支援件数は以下の通りとなる。

総合とは「いばらき被害者支援センター」の支援件数。

性暴力とは「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」の支援件数。

表3 支援件数

(単位:件)

		令和7年度	令和6年度
電話相談	総合	357	557
	性暴力	652	575
メール	総合	7	0
	性暴力	17	2
相談フォーム	総合		
	性暴力	46	26
面接	総合	76	84
	性暴力	38	20
直接的支援	総合	211	172
	性暴力	12	12
自助グループ	総合	6	6
	性暴力		
合計	総合	657	819
	性暴力	765	635
	合計	1,422	1,454

相談フォーム:性暴力被害者サポートネットワーク茨城の相談受付用フォーム

表4 直接的支援の内訳

(単位:件)

支援内容	令和7年度		令和6年度	
	総合	性暴力	総合	性暴力
警察関連支援	1	0	1	0
裁判関連支援	108	0	31	0
検察庁関連支援	0	0	3	0
弁護士法律相談付添	0	0	1	0
行政窓口等への付添い	1	0	15	0
病院付添い	12	6	4	9
自宅訪問・生活支援	1	0	18	0
物品の供与・貸与	0	0	1	0
その他※	88	6	98	3
合計	211	12	172	12
総合計	223		184	

※資料・手紙等の送付・自助グループ関連・全国被害者支援ネットワークの緊急支援金申請

① 相談電話開設時間

■犯罪被害相談 : 月～金 10:00～16:00

土日休日及びセンターの執務時間外の 8:00～21:00 の間(年末年始を除く)は、全国被害者支援ネットワークが運営する全国共通ナビダイヤルが対応した。

■性暴力被害相談 : 月～金 9:00～17:00

平日の執務時間外及び夜間休日は、国(内閣府男女共同参画局)が設置した「性犯罪・性暴力被害者支援のための夜間休日対応コールセンター」が対応した。コールセンターが病院等での処置が必要と判断した緊急事案(直接的支援)を一般社

団法人 LANS(つくば市)に業務委託することにより、24 時間 365 日体制を保持した。

(2) 被害者等への物品の供与又は貸与、役務の提供及びその他の方法による直接的支援事業

上記【表 2】の直接的支援内容別件数のとおり、裁判関連(傍聴付添い、代理傍聴等)が主な支援となっている。「その他」の内訳は、全国被害者支援ネットワークの緊急支援金の申請や資料の送付、自助グループ「よつばのクローバー」のメンバーへの開催通知等であった。

(3) 犯罪被害者等給付金の支給を受けようとする被害者等が行う裁定の申請を補助する事業

犯罪被害者等給付金の申請補助を行う案件はなかった。

(4) 被害者等自助グループへの支援事業

被害者遺族を対象とした自助グループ「よつばのクローバー」を県内 3 カ所で 6 回開催した。

(5) 被害者等の実態に関する調査及び研究事業

- ① 常に新しい情報の入手に努め、関連図書の充実を図った。
- ② 内閣府、警察庁、茨城県、全国被害者支援ネットワークのアンケートや調査に対応した。

(6) 他機関との連携による被害者等支援事業

① 「茨城県犯罪被害者等支援計画」に基づく会議

令和 4 年 3 月策定の「茨城県犯罪被害者等支援計画」に基づき、犯罪被害者等支援施策を総合的かつ計画的に推進するための「茨城県犯罪被害者等支援施策検討委員会」は開催され、当センターから川上俊也理事長が委員として出席した(令和 7 年 11 月 21 日)。

② 茨城県警察

茨城県警察警務部警務課犯罪被害者支援室と日常的に連絡を取り連携を図った。
また、茨城県公安委員会指定の「犯罪被害者等早期援助団体」として、被害者等の要望により、県警犯罪被害者支援室からの支援要請を受けて支援を行った。

③ 茨城県

■県民生活環境部生活文化課安全なまちづくり推進室と連携を図った。

「犯罪被害者等に対する連携支援の実施に関する協定書」に基づく茨城県、茨城県警察、当センターによる令和 7 年度事案調整会議に参加した(令和 7 年 6 月 30 日、10 月 20 日、令和 8 年 1 月 20 日)

④ (公社)全国被害者支援ネットワーク

■全国被害者支援ネットワークの主催する会議等に参加し、他センターとの連携を図った。

- ・令和7年度全国事務局長会議(令和7年4月15日 機械振興会館)
- ・令和7年度定時社員総会(令和7年6月10日 Web)
- ・令和7年度NNVS認定コーディネーター会議(対面:令和7年5月12日
Web:令和7年9月8日、11月10日、11月25日、令和8年1月5日、
3月2日)
- ・令和7年度関東甲信越ブロック事務局長会議
(令和7年9月26日 新潟市 対面)
- ・令和7年度支援活動責任者会議(令和7年12月5・6日 機械振興会館 対
面)
- ・令和7年度企画部会(令和8年1月26日 Web)
- ・令和7年度関東甲信越ブロック支援責任者交流会(令和8年2月10日 Web)
- ・令和7年度第6期5年計画策定プロジェクト会議(令和8年3月24日
Web)

⑤ その他

■下記の機関が来訪、あるいは、下記の機関が主催する会議等に参加し、他機関との情報共有と連携を図った。

【来訪】

- ・新日本婦人の会水戸支部(令和7年5月2日)
- ・水府学園(令和7年5月15日)
- ・第2820地区第3分区水戸東ロータリークラブ(令和7年11月27日)
- ・茨城県会議員(令和7年12月1日)
- ・茨城県公安委員会(令和8年3月25日)

【参加】

- ・令和7年度茨城県いじめ問題対策連絡協議会(令和7年7月4日 県庁 対面)
- ・令和7年度全国犯罪被害者等支援実務者会議(令和7年7月10日 水戸 サテ
ライト)
- ・令和7年度第1回茨城県人権施策推進基本計画改定検討委員会(令和8年2
月12日 県庁)
- ・令和7年度犯罪被害者支援団体連絡会(令和8年3月3日 法テラス茨城 対
面)

2 広報事業(公2)

(1) 広報資料の充実

- 茨城新聞文化福祉事業団の助成により、相談電話番号入りの卓上カレンダー(1,000 部)を作成、配布した。
- ホームページを更新した。(事業報告、収支決算情報公開等)
- ニューズレター(No.45、No.46)を発行した。(会員、関係機関・団体等へ配布)
- 広報用グッズとして茨城県共同募金会の助成により「反射ストラップ」(5,000 個)を作成、各種イベント等において配布した。
- 広報用グッズとして、名入れ付箋(1,000 冊)を作成し、配布した。

(2) 広報発活動の推進

①犯罪被害者等支援広報啓発強化期間に伴う活動

- 「犯罪被害者支援キャンペーン」への参加
 - ・センターから 5 名が参加し、関連機関と共に広報啓発品を配布し被害者支援への理解と協力を呼びかけた。(令和 7 年 11 月 20 日)
 - ・各警察署ロビー等において、センターの広報用 DVD「犯罪被害に遭ったら ～私達にできること～」を放映した。また、県庁ロビーでの「被害者支援パネル展示」において広報啓発グッズを配布した。(令和7年11月25日～12月4日)

②被害者支援連絡協議会

- ・茨城県被害者支援連絡協議会総会にセンターの活動状況に関する資料を配布した(令和 7 年 10 月 10 日)。
- ・下記の地区で開催された被害者支援連絡協議会の総会や幹事会に、講師として参加し、当センターの活動報告や支援への協力要請と共に、広報資料や広報グッズを配布した。
 - ・筑西地区被害者支援連絡協議会(令和 7 年 10 月 24 日)
 - ・水戸地区被害者支援連絡協議会(令和 7 年 11 月 5 日)
 - ・境地区被害者支援連絡協議会(令和 7 年 11 月 6 日)
 - ・鹿嶋地区被害者支援連絡協議会(令和 7 年 11 月 11 日)
 - ・常陸太田地区被害者支援連絡協議会(令和 7 年 11 月 14 日)
 - ・取手地区被害者支援連絡協議会(令和 7 年 11 月 17 日)
 - ・土浦地区被害者支援連絡協議会(令和 7 年 11 月 26 日)

③茨城県警察関係

- ・茨城県警察音楽隊第 46 回定期演奏会 おまわりさんのコンサートのロビーにて

第 1 号議案

広報啓発グッズを配布した(令和8年1月17日)

- ・警察本部見学者(年間約 1,000 人)に、反射ストラップを配布した。
- ・TX つくば駅における地域安全運動に伴う「チカン撲滅キャンペーン」において、県警職員及び TX 職員によりセンターの広報グッズを配布した(令和7年8月7日)
- ・水戸駅における地域安全運動に伴う「チカン撲滅キャンペーン」において、県警職員及び JR 職員によりセンターの広報グッズを配布した(令和 8 年 1 月 15 日)

④その他

- ・エフエムかしま「犯罪被害者支援活動について」と題してメッセージを発信した。
(令和 7 年 10 月 27 日放送)
- ・水戸市地区時刻表に、センターの電話相談の案内の広告を掲載した。
- ・令和 7 年度「被害者活動員養成講座」の受講生募集の案内の掲載と 30 周年記念式典・記念講演会の案内の掲載を、以下のメディアに依頼した
茨城新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、読売タウンニュース、月刊みと、月刊Plaza県南版
- ・水戸市共同募金委員会主催「赤い羽根共同募金運動」に 2 名が参加した(令和7年10月1日 水戸駅)

3 養成・研修事業(公3)

(1)支援活動員等の養成及び研修事業

支援活動員の養成を行うと共に、支援活動員の質の向上を図るため、継続研修会を開催し、外部研修会等に参加した。

①養成講座の開講

- ・第 26 期支援活動員養成講座(初・中級編)開講 令和 7 年 6 月～令和 8 年 3 月 6 日(20 回) 初級編 15 人、中級編 5 人が受講し、令和 8 年度の上級編に 1 人が進級した。
- ・第 25 期支援活動員養成講座(上級編)開講 令和 7 年 5 月～令和 8 年 3 月 6 日(20 回)
上級編 6 名が受講し、うち 3 名が支援活動員に認定された。

②支援活動員対象の継続研修(原則毎月第 1 木曜日午後)の開催

- ・継続研修会 9 回、対面と Web のハイブリットで開催した。

③全国被害者支援ネットワーク及び外部研修会への参加

- ・日本被害者学会第35回学術大会(令和7年6月7日 武蔵野大学 対面 1名)
- ・立命館大学司法面接基礎研修(令和7年7月30・31日 立命館大学 対面 1名)
- ・第24回日本トラウマティック・ストレス学会学術総会 (令和7年8月2・3日 一橋講堂(東京) 対面 2 名 Web 1 名)

第1号議案

- ・茨城県立こども病院主催「包括的性虐待対応プログラム研修」(令和7年9月14・15日 対面2名)
- ・上智大学グリーンケア公開講座(令和7年10月16日～11月20日 全6回 Web2名)
- ・令和7年度 全国犯罪被害者支援フォーラム2025(令和7年10月17日 対面1名、Web5名)
- ・令和6年度秋期全国研修会(R7年10月18・19日 機械振興会館 対面3名、Web4名)
- ・令和7年度女性相談支援員等研修会(令和8年2月4日 水戸 対面1名)
- ・第23回こころとからだの事例検討会(令和8年2月20日 県立こころの医療センター 対面1名)

⑥ その他(寄稿・講師派遣)

下記の機関に寄稿するとともに、他機関への講師を派遣した。

【寄稿】

- ・茨城県学校保健会報「今 こどもたちは」第69巻(令和7年12月1日発行)に寄稿

【講師】

- ・茨城県警察「犯罪被害者支援専科」(令和7年4月18日)
- ・茨城県警察「性犯罪捜査専科」(令和7年6月4日)
- ・認定NPO法人 長野犯罪被害者支援センター(令和7年6月26日)
- ・全国被害者支援ネットワーク 北海道・東北ブロック質の向上研修上半期研修会(令和7年7月10・11日 宮城)
- ・(公社)北海道家庭生活総合カウンセリングセンター(令和7年9月5日)
- ・水戸市立国田義務教育学校「性暴力・性被害に関する研修」(令和7年10月2日)
- ・全国被害者支援ネットワーク「令和7年度秋期全国研修会」(令和7年10月18日)
- ・全国被害者支援ネットワーク 北海道・東北ブロック質の向上研修下半期研修会(令和7年10月30・31日 山形)
- ・(公社)ふくしま被害者支援センター(令和7年11月20日)
- ・外務省 ERT 研修(令和7年12月2・3日)
- ・全国被害者支援ネットワーク「令和7年度支援活動責任者研修」(令和7年12月5・6日)
- ・令和7年度取手地区地域安全運動推進大会(令和7年12月16日)
- ・令和7年度第2回犯罪被害者等支援担当者研修会(令和8年1月28日)
- ・令和7年度筑西薬剤師会「警察・支援センター合同セミナー」(令和8年2月2日 Web)

第1号議案

- ・全国被害者支援ネットワーク 春期全国研修会(令和8年2月14日)
- ・水戸市立国田義務教育学校「性暴力、性被害の理解と対応に関する講演会」(令和8年2月20日)
- ・全国被害者支援ネットワーク 北海道・東北ブロック支援責任者交流会(令和8年2月3日岩手)

Ⅲ 会務、その他

1 総会

令和7年度 定時総会 (令和7年6月17日)

議事 令和6年度事業報告(案)について

令和6年度決算書(案)について

新役員等の選任(案)について

定款改訂について

就業規程改訂について

給与規程改訂について

報告 令和6年度収支補正予算

令和7年度事業計画

令和7年度予算資金調達及び設備投資の見込み

令和7年度収支予算

2 理事会

第48回理事会(書類審議)

(審議期間 令和7年4月28日～令和7年5月8日)

理事長・副理事長選定について

第49回理事会(令和7年5月28日)

令和6年度事業報告(案)について

令和6年度収支決算書(案)について

新役員の選任(案)について

定款改訂(案)について

就業規程改訂(案)について

給与規程改訂(案)について

第50回臨時理事会(令和7年6月17日)

理事長・副理事長互選について

第51回理事会(令和8年3月19日)

令和7年度収支補正予算(案)について

令和8年度事業計画書(案)について

令和8年度収支予算書(案)について

第 1 号議案

支援活動員任用(案)について

職員の給与規程の改訂(案)について

特定費用(35周年事業)準備積立資金に関する規程(案)の創設について

特定費用(面接室リフォーム事業)準備積立資金に関する規程(案)の創設について

3 事務局会議

随時開催